

检修全面外注化阻止！  
反撃、大攻勢に出よう！

# 幕張支部大会開催

日刊  
勤労千葉

1988.1.28  
No.2747

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

幕張支部定期大会は、一月二二日、弁天町会館において代議員・傍聴者五十三名を結集して圧倒的に成功させ、八八年の闘う方針を満場一致決定した。大会は吉野業務部長の開会のあいさつのあと、乗務員分科の猿田氏を議長に選出し進められた。

「四・一」突撃の偉大な地平にたち  
反撃攻勢へ！

### 役員体制

支部を代表して滝口支部長は、「解雇者、清算事業団の仲間の怒りを分ちあい、一年間の激闘に勝利してきた。当局は分割・民営化の破産と新会社スタート初年度ということで凶暴な攻撃を加えてきたが強制出向・広域配転阻止、弾圧・処分による組織破壊を粉碎し、がっちり組織・職場を守ってきた。今こそ分科・青年部一体となって反撃にたとう」と訴えた。

保守部門の全面合理化を許すな！  
から反撃体制を築こう

来賓には、千葉市議・小川義人氏と本部から中野委員長が出席され、それぞれから熱い連帯のあいさつを受けた。

特に中野委員長は本部を代表し、この間の全組合員の奮闘に敬意を表し、今日の激動情勢とそれとのわれわれの任務・課題を提起し、最後に力をこめて「東日本会社当局は今後一万人以上の削減を保守部門の全面外注などを通し実施しようとしている。検修区である幕張支部は今から反撃できる体制をがっちり築いて欲しい」と訴えられた。

真剣な討論を経て  
闘う方針を決定

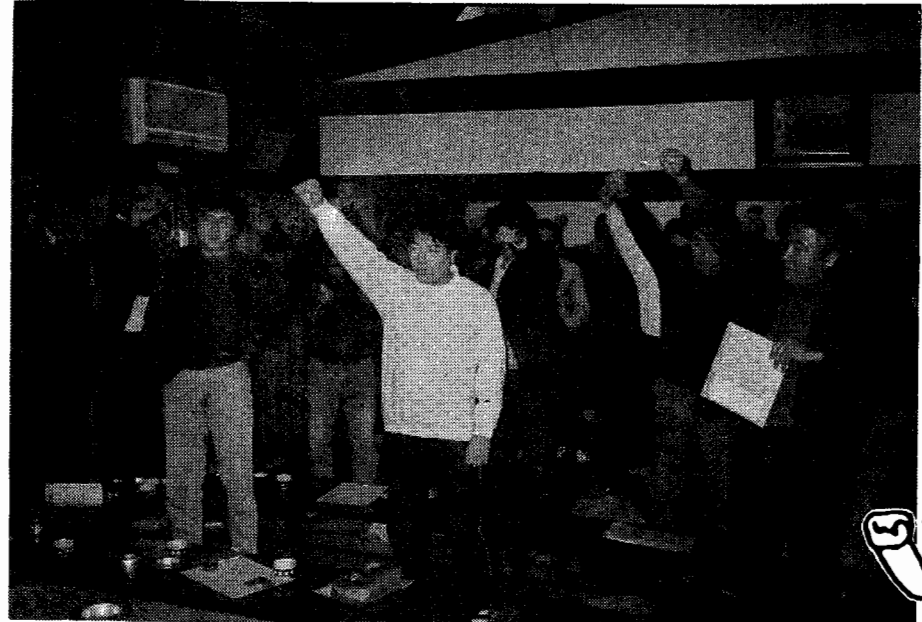
各氏のあいさつの後、白井副支部長が総括、支部長が方針提起、石幡書記長、高橋書記次長、千葉会計監査委員からそれぞれ提起を受けて一括討論に入った。

一日の仕事の疲れを吹きとばし、まず清算事業団、無人駅、越中島のそれぞれの仲間から力強い決意表明を受けた。そのあと「点呼で指針の唱和は拒否すべき」「なのはな等へ行つた者の再オルグ」「本部及び各組合事務所使用について」等が出され、本部・支部からの答弁をうけた。

時間の制約もあり、出された意見については今後職場討議を深めながら組織強化の方向でとりくむことを確認した

最後に、支部長の団結ガンバロー三唱で大会の圧倒的成功を確認し終了した。

支部長	滝口 誠
副支部長	白井 忠博
書記長	石幡 佳和
書記次長	高橋 栄
執行委員	加藤岡 英雄
	木村 実
	中村 武夫
	宇佐見 政和
	吉野 幸成
	大隅 明
	江沢 樹
	川崎 秀二
	黒田 敏明



幕張支部は、団結してガンバロー！！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

### 郵便振替口座開設のお知らせ

購読者のみなさんにはいろいろと御迷惑をおかけしてきましたが、今回郵便振替口座を開設しましたので御利用下さい。

- ◆口座番号 東京〇一三五三六六四
- ◆口座名称 日刊勤労千葉編集委員会

